



れんげ畑

鴻巣市立鴻巣中央小学校
令和元年6月号

学校教育目標
キャッチフレーズ
ホームページ

【知】友と学ぶ子 【徳】心の豊かな子 【体】体をきたえる子
「はきはき・にこにこ・きびきび」
kochuo-e.konosu.ed.jp
児童数376人

失敗と成功

校長 清水 励

芝生の爽やかな緑、空の青、そして子供たちの体育着の赤、冴えたコントラストが校庭に映える季節となってまいりました。先日の6年生市内球技大会では、多くの保護者の皆様にお越しいただきありがとうございました。保護者の方々の御声援を受け、子供たちは練習の成果を発揮することができました。6年生としての大きな行事を一つ終え、ここで学んだことを是非とも今後の生活に生かしていかせたいと思います。

先日、ゴルフ練習場（打ちっ放し）に行った時のこと。若い20代前半とおぼしき4人のグループ（男性3人、女性1人）が、自分の前の打席に入りました。そのうちの一人の男性は、自分のゴルフ道具を持ってはいるものの、あまり練習をしていないらしく、なかなか思うようにボールを打てません。そして、ずっと大きな声で「だから、やっぱり自分には、ゴルフのセンスがないんだよ〜。」「もう、だめ。やっても無駄なんだよ。自分はむいてないね!」と、ボールを打っては言い訳や文句を言っていました。練習場で大きな声を出すというマナー違反以上に、その若者の物事の努力の仕方の分からなさ加減が、とても残念でした。ちょっとやっただけで、すぐに自分には向いていないと簡単にあきらめていては、何の努力や挑戦をすることもなく、そして、失敗から学ぶこともできない人生になってしまうのではないのでしょうか。（もしかすると、その若者は、他のことは頑張っているのかもしれませんが…）

小学校で子供たちが身に付けるべきことは沢山あります。その中でも「挑戦できる」「自分で考える」という力は、これからの社会を生き抜くために、特に大切な身に付けるべき力だと考えます。けれども、子供たちの様子を見てみると、失敗することや自分が傷つくことを恐れすぎているように感じるものがしばしばあります。発明王として有名なエジソンは、白熱電球や蓄音機などたくさんの発明をしましたが、その発明の裏で数多くの失敗をしていました。しかし、エジソンは「私は、1万回の失敗をしたのではなく、1万通りのうまくいかない方法を発見したのだ。」と言ったそうです。失敗をただの失敗に終わらせるか、その失敗を成功につなげられるかどうか、やはり「自分で考え、挑戦できるかどうか」が大切なのではないのでしょうか。

すべての子供たちが、自分が信じたことを、自分がすべきと思ったことに対して、勇気をもって頑張り挑戦できるよう、私たち大人は子供たちに愛情を注ぎ、学べる環境を整えていきたいと思えます。

「香りのエチケット」について

洗濯の際に「柔軟仕上げ剤」を使われている御家庭は多いと思いますが、その使用について、埼玉県県民生活部より情報提供の依頼がありましたので、お知らせします。（以下枠内は、埼玉県のホームページより）

柔軟仕上げ剤を使用したところ、「せきが止まらなくなった」、「隣人の洗濯物のおいがきつくて頭痛や吐き気がする」といった相談が増えています。香りの感じ方には個人差があります。自分にとって快適でも、他人は不快に感じることを認識しましょう。

本校においても、保護者の方や児童から「においの刺激が強くて困っている」という声が届いています。「柔軟仕上げ剤」を使用する際には、このような「香りのエチケット」もあることを御理解いただければと思います。